

牛海綿状脳症（BSE）スクリーニング検査の結果について（平成26年3月分まで）

◎ BSEスクリーニング検査の結果は以下のとおり。

(1)平成13年10月18日～平成25年3月31日

搬入日	症状を呈する牛 ^{※1}		生後30ヶ月齢以上の牛		その他の牛		計		総計
	陰性	陽性	陰性	陽性	陰性	陽性	陰性	陽性	
—	63,438	9 ^{※3}	5,411,440	74 ^{※2, ※3}	8,572,162	88 ^{※3}	14,047,040	171 ^{※3}	14,047,211

(2)平成25年4月1日～平成25年6月30日

搬入日	症状を呈する牛 ^{※1}		生後30ヶ月齢超の牛		その他の牛		計		総計
	陰性	陽性	陰性	陽性	陰性	陽性	陰性	陽性	
平成25年 4月1日～4月30日	274	0	38,103	0	64,863	0	103,240	0	103,240
平成25年 5月1日～5月31日	242	0	35,040	0	60,601	0	95,883	0	95,883
平成25年 6月1日～6月30日	262	0	31,828	0	58,717	0	90,807	0	90,807
計	778	0 ^{※3}	104,971	0 ^{※3}	184,181	0 ^{※3}	289,930	0 ^{※3}	289,930

(3)平成25年7月1日～平成26年3月31日

搬入日	症状を呈する牛 ^{※1}		生後48ヶ月齢超の牛		その他の牛 ^{※4}		計		総計
	陰性	陽性	陰性	陽性	陰性	陽性	陰性	陽性	
平成25年 7月1日～7月31日	34	0	18,327	0	128	0	18,489	0	18,489
平成25年 8月1日～8月31日	23	0	17,172	0	23	0	17,218	0	17,218
平成25年 9月1日～9月30日	21	0	17,621	0	15	0	17,657	0	17,657
平成25年 10月1日～10月31日	25	0	20,454	0	69	0	20,548	0	20,548
平成25年 11月1日～11月30日	12	0	19,623	0	26	0	19,661	0	19,661
平成25年 12月1日～12月31日	9	0	16,993	0	24	0	17,026	0	17,026
平成26年 1月1日～1月31日	9	0	16,182	0	31	0	16,222	0	16,222
平成26年 2月1日～2月28日	16	0	14,833	0	21	0	14,870	0	14,870
平成26年 3月1日～3月31日	10	0	15,764	0	20	0	15,794	0	15,794
計	159	0 ^{※3}	156,969	0 ^{※3}	357	0 ^{※3}	157,485	0 ^{※3}	157,485

(1)(2)(3)の合計

計		総計
陰性	陽性	
14,494,455	171 ^{※3}	14,494,626

- ※1 生後24ヶ月以上の牛のうち、生体検査において運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経症状が疑われたもの及び全身症状を呈する牛
- ※2 BSE確認検査の結果、陰性と判断するには至らなかった1頭を含む
「第12回牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議の結果について」<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2003/03/h0327-2.html>
- ※3 BSEスクリーニング検査結果陽性の検体は、牛海綿状脳症の検査に係る専門家会議の委員が確認検査を実施しBSEの診断を行う。
BSE検査開始以降にBSEと診断された牛は、21頭（平成13年9月に千葉県で確認された1例目及び死亡牛検査で確認された14例を含め、国内では36頭）。
各陽性牛に関する詳細については、「牛海綿状脳症（BSE）等に関するQ&A」<http://www.mhlw.go.jp/topics/0103/tp0308-1.html>に掲載
- ※4 検査を実施した主な具体的理由
〔 モニタリング検査として実施、起立困難のため疾病鑑別の観点から検査が必要と判断したため実施、耳標を装着していなかったため実施 〕

◎ めん羊及び山羊の伝達性海綿状脳症(TSE)のスクリーニング検査結果
平成17年10月1日～平成26年3月31日までの検査頭数

44,416 頭(全て陰性)